

# 和泉妃愛の甘えたがり巣ごもり生活

※本編と異なる箇所がある場合がございます※

01ひよこの国からこんにちは

---

【妃愛】 「お兄、ただいまー」

「『めんね、少し遅くなっちゃって。お腹すいたでしょ、すぐ』はん作るね」

【妃愛】

「今日はね、肉じゃがを作るよ。お肉には牛を使うよ。フフフ」の意味が読み解けるかな?」

【妃愛】

「またまたとぼけちゃつて。仕方がないのでヒントをあげるよ。私がお兄からされて一番喜ぶものはなあに?」

【妃愛】

「あれれ? それともお兄は、私の大好きなものをまだ知らないお兄なのかな?」

【妃愛】

「私たちの関係がどんなもので、それをどう守つていいくことにしたか。お兄と私で約束したよね」

【妃愛】

「私がずっと望んでいたもの……私が手に入れたくて、でもきっと届かないと諦めていたもの……」

【妃愛】

「私の欲しかったものを与えてくれたお兄へのお礼に、今日はいっぱい甘やかしてあげたいのと…」

〔…〕

【妃愛】

「それと私にも、私の欲しいものをお兄にいっぱい与えてもらえるよう、甘えてしまいたいと思つているよ」

---

---

【妃愛】

「なので、私の自撮りを見てなかつたり、錦さんのパイを揉む私を見てなかつたり……」

【妃愛】

「あと私は生涯養われる覚悟を決めていないお兄は、ここで一度回れ右して、私にいっぱい甘やかされてきてね」

【妃愛】

「私はお兄がいないとダメな子なので。お兄がいないとぜんぜん大丈夫じゃない子なので。今日もお兄のおふとんの中で待ってるね」

【妃愛】

「おふとんの中ではお兄と密着してみたいので……誰にも聞かせられない大切な話をしたいので」

【妃愛】

「私たちの声が外に漏れないよう、しっかりイヤホンかヘッドホンをしてね」

【妃愛】

「さて、それじゃあ牛のお肉の肉じゃがを作るぞー！ 今日はぎゅう！ すう！」じぎゅう！」

【妃愛】

「それと明日はお仕事休みなので……どれだけ夜ふかししても平氣だよ」

【妃愛】

「いっぱい幸せな」としてぐつすり寝たら、明日はふたりでくつつきながら、一田一「ふるして過」  
そう。ね、お兄？」

02寂しいひよこ

---

【妃愛】 「うへへへ、お兄い～」

【妃愛】 「本日も私の大好きな時間がやつてまいりました」「はあ～、この時間を過ぐすために、毎日お仕事がんばれるう～」

【妃愛】 「ああいや、嫌なことがあつたわけではなくてね」「誰だつて疲れたときは、おいしいもの食べて癒されたかつたり、お風呂に入つて温もりたいのと同じで」

【妃愛】 「この妹は癒やしと温もりを求めて、本日もお兄のぎゅうを所望します」

【妃愛】 「前はねー、お兄と同じおふとんで寝るようになる前は、部屋でお香を焚いたり、紅茶を飲んだりして癒されてたのだけど、今ではすっかりお兄のぎゅうに夢中」

【妃愛】 「人肌つてのは不思議だね。触れているだけで、とてつもない安心感に包まれるね」

【妃愛】 「もっとも私が今後触れるであろう人肌はお兄の肌だけだし、私が安心して身体を預けられるのもお兄だけなので、私の求める心地よさはお兄の腕の中でしか得られないのだけど」

---

【妃愛】

「わあ、お兄の『おとうだ』。えへへ、しゃーわ  
せー」

【妃愛】

「ね、ね、」のまま「『わん』」ってした

【妃愛】

「お兄に抱きしめられたまま寝転がりたい、押  
したおしてえへん」

【妃愛】

「きやーー、お兄とじつよにベッドへ寝転がるの  
好きーー！」

【妃愛】

「お兄のお布団に潜りこむの好きなんだけね」

【妃愛】

「最近は」「ひしてじょに寝てしまって、なか  
なか潜りこむ機会がないね」

【妃愛】  
「今度お兄が昼寝してたら」「そり忍び」むね、て  
くく

【妃愛】

「はあー、お布団の中でお兄の腕にぎゅうつれてる  
の気持ちいいよー」

【妃愛】

「お兄の鎖骨」「つ」「つ」とあわきこ

【妃愛】

「お兄の鎖骨におで」「ぐうぐうするのもちゅきこ  
えいえい」

**【妃愛】**

「鎖骨は痛いかな？ 痛そうなのでやめるね」「めんね」

**【妃愛】**

「代わりにお兄の胸に頬ずりするう〜」

**【妃愛】**

「お兄の胸ちゅきい〜頬ずりさせてもらひうのもちゅきい〜」「

**【妃愛】**

「うえははは、ちょっと童心に返りすぎてるかも」

**【妃愛】**

「『めんねお兄、寝る前なのにじやれついてしまつて』

**【妃愛】**

「お兄の腕で抱きしめてもらつているのだと思つと、とても気持ちが満たされてしまつて」

**【妃愛】**

「これはね、恋人としてのときめきだつたり、家族としての信頼だつたり、私の一番大切な存在がここにいてくれるという確認だつたり、色々な感情が同時に私の胸を締めつけるわけさ」

**【妃愛】**

「ドキドキしながらほつとするだなんて、真逆の愛しさがめちゃめちよに絡みあって、今わたしのお兄に対する愛情、とんでもないことになつてますけども」

**【妃愛】**

「こんな感情、他の人には絶対抱けないと思う」

**【妃愛】**

「生まれたときから他人じゃないお兄が恋人だから、こんなに愛しいんだ。きっと」

【妃愛】

「大ちゅき。幸せ。私はもう、一生お兄から離れられないね。もつじょぎゅうして」

【妃愛】

「えへへ、最近は甘えてばかりで」めんねえ。以前と立場が逆になってしまったね」

【妃愛】

「でもね、お兄に甘えられる自分が、ちょっと羨ましくもあるんだあ」

【妃愛】

「自分が羨ましいって、何言つてんだと思つかもしれないけど、昔の私のままなら、お兄になんの遠慮もせずに甘えることなんてできなかつただろうから」

【妃愛】

「ど」か諦めていた日の自分が、今の私を羨ましそうに見てるんだ。幸せになれてよかつたねつて」

【妃愛】

「つて、ちょっと痛いと言つた怖い」と言つたね  
私。せつかく甘々の空氣だったのに、「めんね  
え」

【妃愛】

「けど柄にもなく語つてしまつたせいで、愛しさと  
切なさで胸がきゅんきゅんきてる」

【妃愛】

「いつになく可愛がられてしまいたいかも」

【妃愛】

「ねえお兄、今日は私からおねだりしてもいいかな  
あ?」

【妃愛】

「ちゅうして」

【妃愛】

「んっ……んむっ、んっ……はあっ」

【妃愛】

「ん……へへ、あまつあまのキス」

【妃愛】

「もうっ、お兄のキスはお兄ちゃんみのあるキスだなあ」

【妃愛】

「優しくって安心できて、でもいけない」としての気持ちになる少し切ないキス」

【妃愛】

「きゅーって！ いま胸がす」  
「きゅーってしてる！」

【妃愛】

「お兄とキスするの好き。好き。好き好き。大好き」

【妃愛】

「ね、次は恋人のキスしよう。優しいだけじゃなく、ちょっとびりえっちなキス」

【妃愛】

「ごめんね、じやれつぐだけじゃなくて、気持ちが盛りあがってしまって」

【妃愛】

「今日の妃愛は、お兄に愛されたくなってしまった」

した

【妃愛】

「なので、ね？ えつちなちゅうして」

【妃愛】

「んっ！ んむっ、んっ、んむう……んっ、  
ちゅっ、れろっ、ちゅっ、れろっ」

【妃愛】

**【妃愛】**

(れろつ、ちゅつ、れろつ、ちゅうつ……れろつ、ちゅつ、れろお……)

「ふはり……ふあつ、はあつ、はつ……おじい……  
お兄の恋人のキスも好きい……ね、もう一回しよ  
う? お兄のキスして、恋人のキスして」

**【妃愛】**

(んちゅつ、ちゅつ、ちゅうつ……んむつ、ちゅつ、んむつ……ちゅつ)

「はあつ……お兄どうしよう、お兄とキスするの好  
きすまじて、今夜一晩中キスしてたいよお」

**【妃愛】**

「お兄とえっちなキスすると、女の子としての興奮  
といつしょに、子どものころの思い出まで……フ  
ラッシュバックしてしまつて」

**【妃愛】**

「二人で秘密の悪戯をしてるみたいな気持ちが、針  
みたいにちくちく胸に刺さって、その痛みが気持ち  
ちよくて……お兄に身体をいじられたい、いけない妹になつてしまつ」

**【妃愛】**

「お兄に私の恥ずかしいと」手を触つてほしい…  
…」

**【妃愛】**

「ね、お兄……もつかいキスしよ……」

**【妃愛】**

(んちゅうつ……ちゅうつ、れろお、んつ、れろお……ちゅつ、れろお……)

「ふあつ……さつきよりも濃いキス……ねつとり舌  
が絡んで、えっちすぎるよう……くく」

**【妃愛】**

【妃愛】

「お兄、好き……お兄はかけがえのない大切な人で、いてくれるだけで満足だつたはずなのに……いまの私は贅沢になつて、甘えて、愛されて、可愛がられたいと思つてしまつている……」

【妃愛】

「大ちゅき。ちゅきちゅき。たとえお兄が相手でも、私が誰かにこんな甘え方できるとは、自分でも思つてなかつた」

【妃愛】

「軽く幼児退行してしまつてゐるね、ちょっと恥ずかしい……でも、こんな甘えかたをしてる自分に、す「ぐ」ぐドキドキしてると、部分もあつて」

【妃愛】

「お兄とね、兄弟判定アウアウな」と、つぱいしたい

【妃愛】  
「くすぐつたくて」そばゆいさわりつ」を朝までしたい」

【妃愛】

「こんないけない妹で」めんない。でも、今は甘える子なので。可愛がられたいので」

【妃愛】

「妃愛はいま、とてもいけない期待をしています」

【妃愛】  
「ね、お兄……私の身体のどこでもいいからさせて

【妃愛】  
「私も、お兄の……甘えがいのある胸をさわらせてもらひつので」

**【妃愛】**

「まさかきから類ずりはせてもらつているのだけど、それはそれとしてお兄の胸をねるのちゅきい～」

**【妃愛】**

「私はお兄の身体を遠慮なくわらせてもらつてねで、お兄も私の身体を好きなようにもわつてね「えへへ、固くて平らなお兄の胸だあ……ちゅつ、ちゅう……くすぐつたいかな?」

**【妃愛】**

「ねえねえお兄もわいつてよう、舐めてよう」「兄弟でしちゃいけない」と「よう、してよう」

**【妃愛】**

「とは言つても、お兄は私をとても大切に扱つてくれるからなあ……うーん……」

**【妃愛】**

「じゃあ」こんな悪戯をしてしまおう

**【妃愛】**

「そーれ、お兄の乳首くりつ」

**【妃愛】**

「あー、くすぐつたかった?」

**【妃愛】**

「えへへへ、それそれ、くりくり」

**【妃愛】**

「あつお兄がくすぐつたがつてる! それとも恥ずかしいのかなあ~?」

**【妃愛】**

「お兄はお兄のくせに、妹に乳首をいじられてぐづいたいのも我慢できないのかなフフフ?」

【妃愛】

「それとも、くすぐったくないというのなら、私と  
同じところいじりつこする？ 私、お兄になんて  
絶対負けないし」

「もし私が我慢できずに逃げてしまつたら、」のあとでお兄に気持ちいい」としたげる……」

【妃愛】  
「なので、もしお兄が負けたら、お兄から私に気持ちいい」としてね」

【妃愛】  
「じゃあ、よーし……えい、ヘリヘリヘリ…」

【妃愛】  
「んっ、ふうう……やつ… んう……やつとお兄  
が、私の気持ちいいと」わざわざしてくれた……」

【妃愛】

---

「お兄と乳首いじりう」「す」「くいけない」「」としてる気分……胸の奥がどんどん切なくなる……身体の芯がきゅーって締めつけられてしまう……」

【妃愛】

---

「んっ、やんっ！ やあ……んっ！ おにい……い  
ま私、お兄に触れられて、す」「くそつちな気持ち  
になつてゐる……」

【妃愛】  
「ううん、えっちになつてるのは気持ちだけじゃなく……んっ！」

【妃愛】  
「やつ、身体まできゅんきゅんきて……やんつー。  
やつ、「んな」やばいの我慢できない……ひや  
んつー。」「

【妃愛】  
「やあっ、今日の胸……す」く感じる……切ないよ  
おー！」

【妃愛】  
「おにい好き、好き、大好き、んつ、やつ、やあつ  
……おにい、吸つてえ……おにいに舐めてほしい  
……歯でこりこり噛まれたい……んつ」

【妃愛】「ちやふつー、おこひ、おこひー、わんこー、お

【妃愛】  
「やへ、好き……それ、すう」「好き……おにい、お

【妃愛】  
「おにい、私いま、気持ちいい……胸が切なくて痛  
いくらいだけど……でも切なくなるたびに、お兄  
のこと好きになつてくる……」

【妃愛】  
「もう少し悪戯して……ふたりでいけない」とおひら  
よい

【妃愛】  
「ね、おにじ……」つとも触って……

【妃愛】

「うん、私……お兄にさわられると、気持ちいいのをぜんぜん我慢できなかつたので……お兄に負けてしまつたので、気持ちいい」としてほしい」

【妃愛】

「私もお兄の気持ちいいところをわるね……ね、もうこんなになつてる」

【妃愛】

「お兄が私でおつきくなつてくれるのは嬉しいな……お兄の大事などこり。くく」

【妃愛】

「お兄が自分でするとあと回じくら……うん、それ以上に気持ちよくしてあげられるといいな」「力加減がお兄じゃないとわからないからね……痛くないようになないと……んつ」

【妃愛】

「わ、私は……うん、気持ちいいよ……も、もうちょっと上……んつ！」

【妃愛】

「う、うん、そこ気持ちいい……な、中をいじられるとのもいいけど、そこがやつぱり……感じやすい……んつ」

【妃愛】

「おにい……んつ、はあつ……おにい、おにいつ……んつ！」

【妃愛】

「やつ、気持ちいいのは私なのに……お兄の……どんどん硬くなつて……そんなに私の声、えつちかな……」

**【妃愛】**

「私は自分の声が好きなので……自分の声をお兄に聞いてもらいたいのが大好きなので……」

**【妃愛】**

「えつちな私の声はお兄しか聞けないので……私の声で、お兄がその気になってくれたら嬉しい」

**【妃愛】**

「お兄が私の声で興奮する」となんて、絶対ないだろうと思っていたから……ちょ、ちょっと恥ずかしくはあるけど……ん！」

**【妃愛】**

「お兄にだけ一番近い位置で聞かせてあげるね……お兄の耳元で……」

**【妃愛】**

「んっ、やあっ……んっ、あふっ……んっ！　はあっ、あっ、おにい……んっ！」

**【妃愛】**

「おにい……好き……んっ……やう……やう、ひゃんっ！　あっ、はあっ、おにい……好き……」

**【妃愛】**

「はあっ、はっ、あっ、おにい……おにいの耳い……あむっ！」

**【妃愛】**

「あむっ……んっ、んむ、あむっ、んむ……くく、くすぐったい、かなあ？」

**【妃愛】**

「もつとくすぐったいことしたげるね……れろつ、れろ……れろ、れろっ！」

**【妃愛】**

(れろつ、れろお……れろ、れろつ……れろお……)

**【妃愛】**

「えへへへ、我慢できる? できない? お兄が声出してしまったのなら聞きたい……んつ」

**【妃愛】**

「私、自分の声が好きって言つたけど、お兄の声も好きなので……私しか聞けない声を聞いてみたい気持ちはある……」

**【妃愛】**

「甘い声を出してしまつてもいいんだよ、おにい…」

**【妃愛】**

(れろ、れろつ、れろお……あむ、れろつ、れろ……)

**【妃愛】**

「おにい……んつ、はあつ、んんつ……おにい、気持ちいい? 私はすぐ気持ちいい……んつ、ふうつ、んつ……」

**【妃愛】**

「お兄の手でいじつてもらつて……んつ、私も、お兄のをいじつて……お兄の耳を舐めて……いけない」としてる感がす」「じ……やんつ!」

**【妃愛】**

「はつ、はあつ……おにいといじりつ」楽しい……子どものころのまま、身体だけ大人になつたみたい、くく……ひゃんつ」

**【妃愛】**

「こしするの気持ちいい……? ね、おにい……もつと強く握つたほうがいいのかな……」するかんじのほうがいい……?」

**【妃愛】**

「私は、もっと優しいかんじで……うん……氣持  
ちいい……はつ、はあつ、ゆび、いれて……おに  
いのゆび、欲しい……」

**【妃愛】**

「んっ！　んんっ、んっ……おにいのゆびい……  
んっ！　やつ、入つてくれるう……もつと、中……  
あの、動かしてくれると……はあつ、んんっ……  
…」

**【妃愛】**

「おにい……はあつ、お兄の指……お兄の指がは  
いって……私の中で動いて……んっ！　おにい……  
…大好きなお兄の手……んっ！」

**【妃愛】**

「おにいの……んっ、はあつ、おにいの大重要なも  
の、いれたい……んっ！　やあつ……」

**【妃愛】**

「おにいの気持ちいい、これ……私の中、いれてほ  
しい……」

**【妃愛】**

「ひやつ……」

**【妃愛】**

「やつ、ははつ……お兄が積極的でなければ、自分  
で上に乗つてしまつつもりでいたので……」

**【妃愛】**

「お兄がこうしてその気になつてくれて嬉しい……  
やつ、足を開かれてしまふと……丸見えで、とて  
も恥ずかしくはあるけど……」

**【妃愛】**

「あによ、お兄の顔も正面から見えてしまふので…  
…」

【妃愛】

「う、ううん、お兄の顔見たい……見ながらしたい  
……」

【妃愛】

「でっ、でも、自分の顔見られるのは恥じゅかちい  
……やつ、からかわないでおつ」

【妃愛】

「お兄の意地悪……私もお兄の顔を見ながら口でし  
てしまいたいけど……今はお兄にしてもらいたい  
から任せるね」

【妃愛】

「うん、大切にされたい……お兄から、一生大切に  
扱われたい……」

【妃愛】

「私のこと大切って言ってくれるお兄のそばで一生  
を過ごしたい……私を選んでくれてありがとう、  
お兄……」

【妃愛】

「くく軽く泣いちゃつたあ」

【妃愛】

「『めんねお兄、えっちな気持ちのとき』にしんみり  
してしまって」

【妃愛】

「お兄との繋がりを感じさせて……幸せをぐださ  
い」

【妃愛】

「んっ！ んんっ、ふうう、はあ……おにいの、  
はいつてきたあつ……！」

**【妃愛】**

「あつ、あつ、おにいの、大きつ、あ、あん  
なにいつぱいしても、おにいのが入つてくる  
と、おなかいつぱいになる……えへへ」

**【妃愛】**

「んつ、やつ、はあつ……やんつ！ あふつ、おに  
いのが、私の中に……やつ、はいつて、るうつ…  
…！」

**【妃愛】**

「はあつ、やつ、んつ、ふうつ……ひやうんつ…

**【妃愛】**

「やつ、おにいに顔見られちゃ……」

**【妃愛】**

「やつ、声出してる顔見ちゃダメえつ…」

【妃愛】 「私の声は聞いてほしいけど……顔見られるのは恥  
ずかしい、よおつ…」

**【妃愛】**

「やつ、あふう……ひんつ！ やつ、おにいだめ  
えつ！ やつ、あんつ！ ああつ、やつ、や  
んつ…」

**【妃愛】**

「やあつ、おにいのおちんちん、出たり入つたりし  
て……ひうつ、気持ちいいつ……やあつ、だか  
ら、顔そんなまつすぐ見られたら……ひやう  
んつ…」

**【妃愛】**

「あふつ、はあつ、あつ、やんつ！ おちんちん、  
気持ちいいつ……あつ、おにいつ… おにいつ、  
好きいつ…」

**【妃愛】**

「やあ、やあ、うん、おにいが見たいな……おにいの顔、見る……」

**【妃愛】**

「うう、恥ずかしい……おにょ、手は握つてもうつてもいい?」

**【妃愛】**

「おにじと手を繋ぎながらしたい……うん、ありがと……」

**【妃愛】**

「おにじと手を繋いだと、すげ安心する……えへへ、」のまま気持ちよくなれたら、最高に幸せだなあ……」

**【妃愛】**

「今日は大丈夫なように準備してあるから……私の中へおにいの気持ちいい証をいっぽいください」

**【妃愛】**

「んっ! んんっ、あつ、はあつ、あつ……ああつ、んっ、あつ、やんっ!」

**【妃愛】**

「ああ、おにい、ああ、んっ……おにっ、おにい、好きっ!」

**【妃愛】**

「あつ、やつ、もつと動かして……ああ、やつ、もつとおにいを感じたいやつ、おにじと今の関係になつたのを実感したい……」

**【妃愛】**

「おにじ、ああ、んっ、あつ、好きっ、大好き……はあつ、んっ、やつ、おにじと……おにいのそばに、ずっといたられるのが、嬉しい……」

**【妃愛】**

「どんな形でもよかつたのに……んつ、」「んな最高の幸せを与えてくれて……好きつ、好きだよ、おにいっ……んつ！ ゃんつ！」

**【妃愛】**

「やあり、おにいへの気持ちがあふれすぎて……esseぎて、それで胸いっぱいになるのが切なくて……でも身体は気持ちよくて……おにい」れ、やバいよおつ！」

**【妃愛】**

「やんつ… ひつひ、やんつ、あつ、ああつ、やうつ… ひゃんつ！」

**【妃愛】**

「おにい好きいっ…私を妹のまま、おにいのおよみせとにしてえつ…」

**【妃愛】**

「あつだめ」れ、おにいす」「…す」「…す」「…きちやう」「…やんつ！」

**【妃愛】**

「愛しいのと切ないのと辰持ちいのがいつしょくたになつた、ものす」「…のがきちやう…」

**【妃愛】**

「おにい、おにひつ…」「…れ、絶対手を離さないでね…やうつ、やんつ…」

**【妃愛】**

「いま手を離されたら、恥ずかしすぎて、絶対顔隠しちやう…手でおおつちやう…だつて泣いちゃうやうなんだもん…ひあんつ…」

**【妃愛】**

「」「ぬんねおにい、わたし、イク瞬間、すりすべだらしない顔しちやう…」

**【妃愛】**

「だから、わたしの情けない顔見たくないから、お願いだから顔見ないでっ……」

**【妃愛】**

「こんなに胸が締めつけられながら気持ちいい」とされたら、絶対我慢なんてできなじょおひ…

…！」

**【妃愛】**

「やああひ……おひい、もおダメえつ！ ひあつ、あつ、ああひ、イッちやう、やあつ、わたし、イッちやうひ……！」

**【妃愛】**

「おひいの妹なのに、やんひ、おひいのおちんちんです」「へ気持ちよくなつちやう……」

**【妃愛】**

「はあひ、ひうひ、んつ……いけない妹で」「めんなさい……やんひ、でも、おひいが好きいひ…」

**【妃愛】**

「ああひ、やひ、すい」「のべるひ……おひいの前でだらしない顔しちやうひ……見ないで、見ちゃダメえひ…」

**【妃愛】**

「でひ、でもひ……わたしの声では……わたしの声を聞きながら、おひいに気持ちよくなつてほしい……やんひ…」

**【妃愛】**

「あひイク、イッちやうひ……おひい、わたし、気持ちいいのべるひ……おひいのおちんちんでイカされちやうひ……」

**【妃愛】**

「もう我慢できない……だからおにいも、私の中に  
気持ちいいのこっぽい出してえつ……」

**【妃愛】**

「やつ、イクつ…… イク、おにじイクつ……  
おにじと手を繋しながらイクつ……」

**【妃愛】**

「やあああああああああつー おにいの、気持ちいい  
よおおおおおつー」

**【妃愛】**

「あつイクリクつー イシヒルツー あ  
あつ、あつ、やあああつー」

**【妃愛】**

「これ、す」つーおにい、いまわたし、す」によ  
おり……」

**【妃愛】**

「おなかの中におにいの温かいのを感じて……幸せ  
で胸もお腹もいっぱいになつてる……」

**【妃愛】**

「ふあつ、あつ、」めんつ、おにい……まだイッて  
る……わたし、まだ気持ちよくて……ひあつ……

「…」

**【妃愛】**

「ああつ、あつ、今日もす」がつた……最後まで手  
を繋いでくれてありがとう……おにじとえつちす

ると、いつもこんな風になつちゃうね……」

**【妃愛】**

「わたし、毎日気持ちよすぎで、いつか頭おばかで  
になつちやうだなあ……えへへ」

---

【妃愛】

「今日もお兄に愛してもらえて、この妹は幸せでした」

【妃愛】  
「なのでお兄が気持ちよくなりたいときは……私を  
きゅうしたいときでもいいので、またいっぱいし  
ょうね」

【妃愛】  
「おにい大好き、えへへ」

---

03恋するひよこ

【妃愛】 「……」

「お兄」めんねえ、いつしょにお布団まで入ったのに、すっかり寝る空氣ではなくつてしまつて」「でもお兄といつしょにシャワー浴びるのは好きなのでしあわせー」

【妃愛】 「今日はいっぱい汗かいたので、私がお兄を綺麗にしてあげるね」

【妃愛】 「汗だけではなく、気持ちいいのも、いつもよりたくさん出でいた気がするしね」

【妃愛】 「……と思つていたのに、どうしてあれだけいつも出しておいて、おにいのおにんぽはまた大きくなっているのかな?」

【妃愛】 「私が後ろにいる間は気づかれないと思つていたのかな?」

【妃愛】 「元気におつきくなつてじるおにんぽが鏡に映つてしまつているよフフフ」

【妃愛】 「もう、私のおなかがいつぱいになるほど出したのに、お兄は元気だなあ」

【妃愛】 「でも、私とくつついてお兄がそんな風になつたのだとすればとても嬉しいので、実は今すぐ喜んでいたりするでくく」

【妃愛】

「あつ」「めんウソウソ、今はお兄を困らせるためにやつた」

【妃愛】

「むしろいま困らせる発言をしてしまったお詫びに、お兄を気持ちよくして、今度こそ空っぽにしてあげたい」

【妃愛】

「元気なおにいのんぽを見て、私はいまどもしてあげたいのだけど」

【妃愛】

「お風呂場でするのって、いけないことしてる感ましまして、私自身からだが火照ってるのもあるしね……」

【妃愛】

「お兄の出してくれたものが、おなかの中で熱を帶びてる」

【妃愛】

「お兄に早くしてよる」「ばれたい」

【妃愛】

「後ろから」「めんね……えへへ、お兄の、もつわと

同じくらいまだ硬い」

【妃愛】

「あつでも、まだちょっとべたつらいるね……」

【妃愛】

「一度洗つてからのほうが……あ。今」お兄に仄くしてあげるとき

【妃愛】 「えへへ、お兄は動かないでね」

【妃愛】 「あつおちんちん顔にあたつちやつた

【妃愛】 「うくくくおちんちんに頬ずり頬すり

【妃愛】 「んー、ちょっと下品だつたかな、えへへ」

【妃愛】 「いぬんね、引いてない? ちょっとでもお兄が興奮してたら嬉しい」

【妃愛】 「先にたまたま舐めちゃうね……えろつ

【妃愛】 「（れろお……れろつ、れろつ、ちゅうつ……れ  
る、れろお……）」

【妃愛】 「気持ちいい? くすぐつたい?」

【妃愛】 「お兄のたまたま舐めると、おにんぽピクピク反応  
するので嬉しい」

【妃愛】 「今度はおにんぽ手でこすりながら舐めたげる  
ねー」

【妃愛】 「（ちゅつ、ちゅぶつ、んちゅつ……れる、ちゅつ  
……れるお）」

【妃愛】

「えへへ、イキそう？ そんなに気持ちいい？ お兄が喜んでくれるの好き……」

【妃愛】

「お兄がイキたいのなら、好きなときに出してしまってもいいよ？」

【妃愛】

「あ、さっきたくさん出したばかりだから、そんなすぐには厳しい？」

【妃愛】

「へへへお兄の性欲を他の女の子へ向けさせないためにも、お兄が一日に出せる分量は毎日私が搾りとつてしまいたいぜ」

【妃愛】

「搾つて搾つて出せなくなるまで搾るために、お兄の興奮するツボは心得ておかないとね！」

【妃愛】

「ほあ……」「あいいんあつえ……」

【妃愛】  
「（れろ、れろお……れろ、れろつ、れろお……れろつ）」

【妃愛】

「ちゅつ……えへへ、どうかな、H口いかな……お兄から見られてるのもちょっと意識して舐めてみた……」

【妃愛】

「私はお色気成分が不足しているのは自覚しているからね！」

【妃愛】

「ただでさえお兄は、私の表情だつたり仕草だつたりに異性らしさを感じる」とは少ないだろ？から……」「…」

【妃愛】

「これは卑屈になつてゐるのではなく、家族としてずっといつしょに過いしてきただからやむを得ないよね」

【妃愛】

「その分、愛しさだつたり、お互いをよく知つたりといつう役得はあるわけだし」

【妃愛】

「というわけで、お兄が私にエロさを覚えた数少ない機会は、見逃さずモノにしていく」と思いました！」

【妃愛】

「お兄、このままどうかなあ？」

【妃愛】

「はいおひぱいサンデー、ひよひよ~

【妃愛】

「うー、」でひよひよなどと言つてしまつからダメだとこののに、つぶ瀬しづれを求めてしまう。自分  
が憎い…」

【妃愛】

「ああー… 案の定、お兄のおにんぽがかわいらしく  
いサイズのおちんちんに戻りつつある！ せつか  
く寄せてあげて包みこんだというのに…」

【妃愛】

「こればかりかん、こればかりかんですぞ」

【妃愛】

「あ、あむん…」

【妃愛】

「んむんむ、んむう……んむ、ちゅう、ちゅうぶつ、ん  
ちゅう……ちゅう、ひきひき、んちゅう、んむう……」

【妃愛】

「ちゅう、んむ、ちゅう、じゅるう……じゅ  
る、じゅる、じゅる、じゅる、じゅる、んちゅ、ちゅう  
う、んちゅ、ちゅう」

「…」

【妃愛】

「ふはつ……えへへ、おここのおちんちんがおこん  
ぽに逆戻り~」

【妃愛】

「お兄はお口でされのが好きなのかな~?」

【妃愛】  
「れろつ、れろ、れろつ……ちゅう、れろつ……ん  
む、あむつ……ちゅう、れろつ……」

【妃愛】  
「んちゅう、ちゅうぶつ、じゅぶつ……んちゅ、れ  
ろつ、ちゅう、れろお……ちゅう」

【妃愛】  
「んむつ、ちゅう、はあつ、お兄のおちんちん  
綺麗になつたかなあ?」

【妃愛】

「んふうふうばがいつけられた状態で手でされる  
のが気持ちいいといつのは、もう把握している  
よ」

【妃愛】  
「手で」「すらながらたまたま舐めたげる……れ  
ろつ、れろお……」

【妃愛】  
「んむちゅ……れろつ、れろお、ちゅう、れろつ…  
…ちゅう、れろお……」

【妃愛】

「自分でしておいてなんだけど、これ、す」「くえつ  
ちだね……もつと、こつぱいしたげたくなる…  
…」

【妃愛】

「おにじの……おにじのおちんちん……れろつ、  
ちゅうつ……おにじのおちんちん、好きい……  
ろつ、ちゅつ……」

【妃愛】

「おにい、好き……愛し、……好きな人の大切な部  
分で、」んなに愛しく思えるんだあつて……へへ  
……ちゅつ、れろつ……ちゅつ」

【妃愛】

「自分がおにじの「にじ」、「んなえちゅう」としてい  
るのに「ドキドキする……」

【妃愛】

「関係が変わったんだなつて……」これから一生おに  
いのそばにいていいんだつて実感できる……」

【妃愛】

「だからおにじにしてあげるのちゅき……大ちゅき  
……れろつ」

【妃愛】

「ちゅつ、れろつ、あむつ……ちゅぶつ、れろつ、  
んむつ、ちゅぶつ……」

【妃愛】

「んむちゅつ、ちゅぶつ、れろつ、じゅぶつ……  
ろつ、ちゅつ、れろつ、じゅぶつ……」

【妃愛】

「んじゅぶつ、ちゅつ、ちゅうぶつ……ちゅつ、  
じゅぶつ、んじゅつ、れろつ、じゅぶつ……」

「んじゅぶつ、ちゅつ、ちゅうぶつ……ちゅつ、  
じゅぶつ、んじゅつ、れろつ、じゅぶつ……」

【妃愛】

「じゅうぶー、じゅるー、べじゅうぶ、じゅ  
るー、じゅうぶるー……へじゅ、じゅるー、じ  
ゅるー」

【妃愛】

「んむり、かむり……ねじのねむらんちくぱく  
してる……ぐく、綺麗にあつて言つておいて  
なんだナビ……わづー回出しちゃおつか」

【妃愛】

「んぢゅるー、じゅるー、じゅるー、んぢゅ  
るー……じゅるー、じゅるー……わらひのくち  
のまへのくち  
なか……ひらとじからく……んぢゅるー」

【妃愛】

「んぢゅるー……んぢゅるー、ぱせつ、おこ  
いておこ  
の、氣持ちごごの飲みたー……こっぽい出しでね  
……んぢゅるー、じゅるー、んぢゅるー」

【妃愛】

「じゅうぶー、じゅるー、じゅるー、べじゅ  
るー……じゅるー、じゅるー、じゅるー、じゅ  
るー……」

【妃愛】

「じゅうぶー、じゅるー、じゅるー、じゅ  
るー……じゅるー、じゅるー、じゅるー、じゅ  
るー……」

【妃愛】

「んじゅるー……じゅるー、じゅるー、べ  
じゅるー……じゅるー、じゅるー、じゅ  
るー……」

【妃愛】

「んじゅるー……じゅるー、じゅるー、べ  
じゅるー……じゅるー、じゅるー、じゅ  
るー……」

**【妃愛】**

「んぐり、んぐり……ひよこ、ひよこひよこ  
じよこひよこ……ご、ごへ……じよこひよこ…  
じよこひよこ…」

**【妃愛】**

「んむり、むり、ぱぱり……んぐり、んぐり……お  
にいの、いっぽじ口の中、出た…」

**【妃愛】**

「せんぶ飲んじゃつたよ……へへへ、まだ出る  
かなあ? 出てきたらせんぶ舐めとつてあげるか  
らね」

**【妃愛】**

「気持ちよかつた? すいぐ? エヘヘ、おにいに  
褒めてもうれると嬉しいなあ」

**【妃愛】**

「最近はほめほめしてくれるけど、付きあつ前のお  
にいはあんまり私を誉めてくれなかつたからね」「  
でもおにんぽ気持ちよくしてあげたときは、いつ  
つも誉めてくれたので、これからもいっぽいす  
るうー、がんばるうー! ほめてほめてー!」

**【妃愛】**

「といづわけで、せつかく綺麗にしてあげたのに、  
またぐとになつてしまつたので、今度こそ石  
鹹で洗おう」

**【妃愛】**

「手にたつぱり石鹹をつけて……フフフお兄、どう  
へ逃げようとしているのかな? この狭い浴槽に  
逃げる場所なんてないよ?」

---

## 【妃愛】

「出したあとが敏感になつてゐるのさもう知つていいので」「

【妃愛】  
「や」「」の石鹼をついたぬるぬるのお手ででもみくちゃにしたら、お兄せどりになつてしまふのかなあ?」

【妃愛】  
「また出したくなつたら氣落ちよくしてあげるか」

「

【妃愛】  
「そーれ、観念するがいい、お兄!」

【妃愛】  
「はーい、キレイキレイしましようね、よちよち

」

【妃愛】  
「おにいが喘いでる喘いでる、かわいい」

【妃愛】  
「これからもいっぽいお世話してあげるからね、お

兄」

04ひよこの正体はぎゅう魔王

【妃愛】 「はあ～」

「やつぱり一日の終わりにお布団の中でお兄に抱っこでもひらのは最高だねえ」

【妃愛】 「お仕事の疲れもぶつとんどいでいへよ、布団の中だけに……」

【妃愛】 「なんて私が癒されているといふのに、お兄をともも疲れさせてしまって」「めんなさ～」

【妃愛】 「ちょっと悪ノリしそぎたなと反省しています」

【妃愛】 「えつちをするとお兄の反応が身体でわかるから、嬉しくなつてついつい調子に乗ってしまう……」

【妃愛】 「自分が癒されて、お兄を疲れさせてしまったよ。はあー」

【妃愛】 「でもねあの、言い訳したいのではないんだけど……お兄とのえつち、純粋にえちちな」としたいのもあるんだけど、それとは別にお兄とのじやれあいが楽しくて」

【妃愛】 「うーん、なんだろ?」

【妃愛】 「童心に返つて、お兄と遊んでるかんじするんだあ

【妃愛】  
「今やりできない」とをやめてもらつてるとどうか

...  
L

【妃愛】  
「うん、まあ、だから……お兄とのえつちが好きなんだ」

【妃愛】  
「気持ちいいし、楽しいし、愛しい」

エントリ・撮影を意識して

【妃愛】  
「つて言つても、えちちな気持ちがあるのには変わりがないし、お兄を疲れさせていい理由にはならないのだけどね！」

【妃愛】  
「ふう。」こんなに性欲旺盛な妹に育つてしまつて」「めんなさい」

【妃愛】  
「でもこれからもどんどん求めてしまつと懸つので  
許してくださいや」

**【妃愛】**

---

「ううーん、ちょっと前までは私がお兄を甘やかしていたのに、今では私がお兄に甘えている……甘やかされている」

【妃愛】「以前お兄を抱つ」して母性を感じたけれど、最近

「以前お兄を抱つ」して母性を感じたけれど、最後はこうしてお兄に抱つ」されるほうが好き……」「うう……」

【妃愛】  
「本当にね、すつ」く役得だと思つんだあ」「

【妃愛】

「だつてお兄ちゃんに抱ひこされて温かさを覚える妹はいても、ときめいたりまではしないでしょ」「恋人に抱きしめられて胸が高鳴る女の子はいても、家族としての安心感ではないわけでしょ」

【妃愛】

「私は安心ときめきとじう2つの愛情を同時に与えてもらつてるんだあ」「私は安心ときめきとじう2つの愛情を同時に与えてもらつてるんだあ」

【妃愛】

「こんなに贅沢なお相手は、探したつてそういうないと思う」

【妃愛】

「お兄が恋人になつてくれた私だけの特権」

【妃愛】

「ありがとうお兄、大好き」

【妃愛】

「えへへへ、自分で言つてビックリしてしまつた」

【妃愛】

「でも」「うしてぎゅうしてもらつていい間は、す」「くまつたりとした幸せで満たされるので、やつぱり私は贅沢者だあ」「私は贅沢者だあ」

【妃愛】

「だからお兄にぎゅうしてもらうのはす」「く好き」

【妃愛】

「今日も妃愛は一日幸せでした」

【妃愛】

「お兄の存在に感謝しつつ……また明日目が覚めたときも、私をぎゅうしていてね」

【妃愛】

「今日は一段と安らかに眠れそう」

【妃愛】

「それじゃあお兄、おやすみなさいのちゅう」

【妃愛】

「してくれたら大人しくもう寝るのでちゅうして

【妃愛】  
「ん？ うん、まあ、ちゅうしたら、またしたくなっちゃうかもしけないナビ……えへへ」

【妃愛】  
「でも今日はお互に限界まで果ててしまつてたと思つので、するとしてもまた明日かな！」

【妃愛】  
「そのときはせりき以上に……じつぱじお兄に恩へすね」

【妃愛】  
「さ、それじゃあおやすみなさいの。して」

【妃愛】  
「ん？」

【妃愛】  
「んふ、んふ、んふ」

【妃愛】  
「お兄のちゅう、ちゅう」

【妃愛】  
「おやすみ」

05ひよこの気持ち

【妃愛】 「おにい、なに見てるの？ えちちなゲームの購入画面？」

【妃愛】 「あつ驚かせてしまったかな、『めん』

「まあ』めんと言いつつ、お兄が何の画面見てるか  
こつそり覗くつもりで忍び寄ったから、ぱりぱり  
故意なのだけれども」

【妃愛】 「それでこれはなんのゲーム……あ、音声……作  
品？」

【妃愛】 「ほえー、お兄『うう』の好きなんだあ」

【妃愛】 「いやまあ私という恋人がいたと『る』で、二次元の  
えちちを求めるのは当然くらいに思っていたの  
で、その点については全く気にしてないのだけど  
さ」

【妃愛】 「お兄と兄妹のままのやりとりができるのは嬉しい  
し」

【妃愛】 「でも音声作品つていうのはなあ……」

【妃愛】 「表紙に騙されてページ開いただけ？ うんまあ表  
紙の絵はかわいいねえ」

【妃愛】 「でもまだちょっと半信半疑ー」

【妃愛】 「疑わしきはバスケットボールー」

【妃愛】

「えちちなイラストでお兄が燃え盛るのは微笑ましいけど、声オンリーでえちちな気分になるのは……なんか……ちょっと……その、声だけでつていうのが」

【妃愛】

「だだ、だつてお兄は、私の声単体だと絶対にえちちな気分にはならないだろうし……私、声のお仕事というか……私だつて、自分の声でお兄に萌えてほしいというか……」

【妃愛】

「その、萌えるだけではなく、やっぱり自分の声でお兄がえちちな気持ちになつてくれたら嬉しいと、いうか……」

【妃愛】

「えつ小泉妃愛はみんなのもの？　お兄が独り占めしていいものではない？　それは私が言いだしたこと？」

【妃愛】

「そそつ、そおなのだけどおなのだけビヅビヅビヅビヅ」

【妃愛】

「そんな正論で感情的になつてゐる妹を言い負かして、それでもお兄は立場の弱い妹を恋人にしている自覚があるのかー！」

「私だつて頭ではわかつてゐるのだけど、こと声の話になるとやつぱり悔しい気持ちはあるんだ よう、シット！ シッター！ シッテスト」

【妃愛】

「私だつて私だつて、お兄にこつそり自分の音声作品を買つてほしい！」

【妃愛】

「そもそもお兄、私の音声作品の存在すら知らないよね」

【妃愛】

「あるよ！ ささやきボイスみたいなものは発売されているし、販促動画は公開されているよ！ 私としてではなく、キャラとしての声だけれども！」

【妃愛】

「お兄が私に内緒でこつそり購入してくれていたら嬉しい……けれど、そんな事実もないよねきっとぐすん」

【妃愛】

「かといつてプライベートな時間に、私のキャラとしての声や小泉妃愛として本気出した声を、お兄個人に聞かせるのは声優判定アツッだし……うううううううう！」

【妃愛】

「えーとー」の音声作品は……なになに「天使の耳かき」……また天使か！ 「脳が犯される耳舐め作品の決定版」……ふうーん、耳かきものかあ

【妃愛】

「あつ！ なーんだ、それならとも簡単なお話だつた」

【妃愛】

「小泉妃愛の音声作品としてではなく、お兄の妹としてリアル耳かきをしてあげればいいだけのお話だつたね！ 声優判定セフセフ」

【妃愛】 「どうわけで、来いよ」

【妃愛】 「今回お兄に拒否は許されません。妹に心的外傷を与えた責任をとつてください。耳かきさせてくださいお願いします。なんでもします、この通りです」

【妃愛】 「あ、させてくれるんだ?」

【妃愛】 「わあい、お兄やさしい！ 大大大ちゅき！ いかなるときもちゅき」

【妃愛】 「『話』って、人に耳かきなんてした」とないから緊張するね……」

【妃愛】 「さ、お兄。」く頭をのせて

【妃愛】 「うはー！ 期せずしてお兄にひざまくらー！ 性を覚える、ときめくうー！」

【妃愛】 「ええー？ こんなにときめくなら、もつと前からお兄に耳かきさせてもらえばよかつた」

【妃愛】 「これは棚からぼたもちだなあ。私、みたらし団子が好きだけど。よちよち。よちよち」

【妃愛】 「それではいざ耳かきをするわけだけど、すべてが初めてなので、痛かつたら言つてね」

【妃愛】

「しかし、うーん……残念ながら、お兄の耳の中は綺麗だ」

【妃愛】  
「でも私の目的はお兄の耳を綺麗にするのではなく、お兄に耳かきをする」となので、耳かきでくすぐるね」

【妃愛】  
「どうかな、くすぐったいかな。痛かつたらゆってね」

【妃愛】  
「ちなみにこの耳掃除は和泉妃愛として行っていますが、お兄に私のさやさやきを聞いてもらうのが目的なので、終始声をかけづけます。声優判定セフセフ」

【妃愛】  
「そ、う、い、え、ば……私もだけど、お兄、昔はお母さんには耳かきしてもらつてたよね」

【妃愛】  
「今は自分がその役を務めてると思つと、過剰なままでにときめくう」

【妃愛】  
「えへへ、まだ始めたばかりなのに、お兄の耳がき楽しい、母性母性」

【妃愛】  
「まだお母さんみたいに上手くはできないだろうけど、いざれお兄からおねだりさせてみせるからね」

【妃愛】  
「お兄の耳好きい、お兄の耳の形好きい、お兄の全部が好きい」

【妃愛】

「小さい頃ね、耳かきの順番、いつもお兄が先  
だったよね、あれちょっとズルいなって実は  
思つてた」

【妃愛】

「あ、やあ、怒つてはない、怒つてはないよ。怒つ  
てないというか気にしてはなかつたよ」

【妃愛】

「まあ単に生まれた順つてだけだしね。「今日は妃  
愛が先ね」って日もあつたし。でもまあ、キホン  
はお兄からだつたよね」

【妃愛】

「お風呂もお兄が先に入れてもらつてたしね」

【妃愛】

「ゆーても、あれはお父さんと入るのがお兄で、お  
母さんと入るのが私で、お父さんとお母さんで先  
に入るのがお父さんつて順番決まってただけだ  
けど」

【妃愛】

「は？ いつしょに入つてたころあつた？」

【妃愛】

「いいい今その話しゆるなしないで、この話恥ずか  
ちい終わし」

【妃愛】

「あーだめだめこっち見上げないで、いま耳かき中  
なんだから」

【妃愛】

「はいっ！ はいっ！ こっちの耳終わり！ 逆！  
向こうに向いて！」

【妃愛】 「えへへ、私の足の上でお兄の頭が動ぐの好きい」

「」

【妃愛】 「お兄の頭の重みを感じるうへ、存在を感じるうへ」

「」

【妃愛】 「もはや説明すら不要に思えるけど、私は今みたいにお兄と家族を感じられる時間が好きだよ」

【妃愛】 「でも今ではときぬきも覚えられるので幸せむぎゅ「ハハハハハハ」

【妃愛】 「あつ」「めん、耳かきの邪魔してしまつたね」

【妃愛】 「でもねー、自分でも驚くべからい幸せで満たされていいでうへへへ」

【妃愛】 「お兄とこれからもずっとこんな時間を過げ」せるうへへ、末永くいっしょに暮らせるうへへ

【妃愛】 「今後は一人になる不安を抱かずに生きていくるうへへ」

【妃愛】 「はあ……自分の人生が上手くいきすぎて怖い……心境的にはもはや余生」

【妃愛】 「これからは山も谷もなくよいので、お兄とただただ幸せな時間を過げ」すんだい」

【妃愛】 「お兄大とうき、てへ」

【妃愛】

「はあ、先ほどから気持ちが高まりすぎて、耳かきが雑になつていたら」「めんねお兄、痛かったらゆつてね」

【妃愛】  
「え、むしろくすぐつた?」

【妃愛】  
「口ではテンション高いくせに、おつかなびっくり?」

【妃愛】  
「だだだだつて、耳つて敏感な部分だし、万が一強く引っ搔いたら痛いかと思つて……」

【妃愛】  
「お、お兄、笑わないで！　ちょ、母性台無し！　おにーいーつ！　もーつ！」

【妃愛】  
「ううう数秒前まで私が母性を感じていたのに、なぜかお兄に笑われている……」

【妃愛】  
「仕方ないよ、何事も初めての経験は上手くいかないときもある……う、うううう！」

【妃愛】  
「お、おによれお兄、大好きなお兄の身体を大切に扱う、妹の健気な心を笑いおつて……！」

【妃愛】  
「まだぜんぜん耳かきしてないけど、ちょっと休憩して、今から悪戯をします」

【妃愛】  
「逃げようとしてもそういうはいかんぞ」

【妃愛】  
「いかに私が非力と言えど、」こまでしつかり抱え  
「めばお兄も逃げられまい」

【妃愛】

【妃愛】

【妃愛】「えへへひらくりした？ くしゃぐつたい？」

【妃愛】  
ううううん母性復活、お兄がかわゆい！」

【妃愛】  
お兄がまいこたするまでしゆる…………

〔姫愛〕

【妃愛】  
「息吹きかけだけじゃ……物足りないなあ……」

【妃愛】  
「ちゅう……れろ」

【妃愛】  
「えくくお兄がびくつでした」

【妃愛】  
「私はいつも、お兄に耳を責められてわからされ

てしまつので、今日はお返し……」

【妃愛】  
「（れろ…………れろ、れろつ…………れろ、れろお…………れ  
ろつ）」

【妃愛】

---

「えぐく、我慢できないから、すぐやつたがのは、  
私もよく知ってるから……」

【妃愛】 「妹の健気な心をくすぐす笑った事実をよく反省してほしい」

【妃愛】 「うううん、お兄がわかつてくれたのなら私は満足」

【妃愛】 「ここからは優しく耳かきしてあげるね」

【妃愛】 「えへへ、お兄の耳かき楽しい、お兄の頭を膝にのせてるの愛しい」

【妃愛】 「しばらくはお兄の耳かきにはまってしまいそうだけど、耳かきつて、しきりにほうがいいとも聞くよね」

【妃愛】 「1週間に一度くらいかな、2週間くらい間空けたほうがいいかな?」

【妃愛】 「これからは自分で耳かきしてはダメだからね」

【妃愛】 「私にお世話をせでね」

【妃愛】 「ありがとうございます、お兄。大チユキ」

【妃愛】 「はい、それじゃあ今日はここまでー」

【妃愛】 「綺麗綺麗になりました」

【妃愛】 「お兄、お疲れ様。次回はまた2週間後のお楽しみ……え、私?」

【妃愛】

「私の耳かきをお兄がする……？」

【妃愛】  
「い、いいよお、私は普段から綺麗にしてるし……  
その、最近したばかりだし……」

【妃愛】  
「やつ、耳かきちゃダメ！　えつ、ダメだめほ  
んどだめ」

【妃愛】  
「だつて、さつき私にされてるお兄を見てるだけ  
で、くすぐったそうだったのに……お兄に同じ」  
とされたら、私、我慢できない」

【妃愛】  
「やつ、ダメ！　やだやだお兄、押したおしちや  
ダメ……あつ」

【妃愛】  
「あ、あによ……さつきは調子に乗つてちゅみま  
んでちた……反省してましゅ」

【妃愛】  
「なので耳だけは許し……あつ、ひゃあん！　舐め  
るのダメえ！」

【妃愛】  
「わいわいれ耳かきじゃなよお……やつ！　も  
お、おにいしいい！」

【妃愛】  
「うわ、おなかこんな仕返しを受けてしまつひとは…  
…」

【妃愛】  
「でも……お兄がこんな風に襲つてくれるとは思わ  
なかつたので、口では抵抗してしまつたものの、  
いま妃愛はどうもドキドキしてじます」

【妃愛】

「今度から襲つてほしいときはお兄に耳かきする  
ね」

【妃愛】  
「お兄の耳かき、大好き」

06すやひよ

【妃愛】

「ん…………すう…………」

【妃愛】

「すう…………」

【妃愛】

「んむう…………すう…………」

【妃愛】

「おにい…………とうき…………」

07おはひよ

【妃愛】 「おにい」

【妃愛】 「おにい、朝だよお兄」

【妃愛】 「えへく、おはよう……まだちょっと眠ねうだね」

【妃愛】 「私? 私はちょっと前に起きて……お兄の顔しばらく眺めた」

【妃愛】 「あと」 むん、実はいつも起きてる時間までにはあとちょっとあるんだけど、お兄といちやいちやしてたくて、少し早く起こしてしまったよ」

【妃愛】 「はあー、お兄に布団の中でもうやられるのじきめくうー」

【妃愛】 「」のまま永遠に二人でいるふうしてみたい

【妃愛】 「以前の私はもうちょっとしっかりしていったと思うのだけど、今ではすっかり墮落してしまったねえ」

【妃愛】 「もう一人では寝られなくなっちゃつたなあ……」

【妃愛】 「まあ幸い、いまども大切に扱われている私は、お泊まりの仕事などはないので、毎日お兄のいるおうちに帰って、いつも同じように寝られるのだけど」

【妃愛】 「お兄は一人で寝たいときある?」

【妃愛】

「一日くらいは我慢できるので」

【妃愛】

「そんな日は部屋で一人ひよこの抱き枕を抱いて寂しい夜を過ごすので」

【妃愛】

「でも一日以上は我慢できないので、ひとりで寝たい日が続くときは教えてください、えへへ」

【妃愛】

「さて、それでは今日もたっぷりアールギーを注入していただいたので、朝の支度を始めようかな」

【妃愛】

「お兄もそろそろ朝の支度……まだ眠い?」

【妃愛】  
「もー、お兄に甘えられると、平日でも寝かせてあげたくなってしまうなあ」

【妃愛】  
「ちゅうすれば日を覚ましてくれるかな?」

【妃愛】

「んっ」

【妃愛】  
「へへへ世間にいる普通のカップルみたいで照れちゃうね、お兄ちゅきー」

【妃愛】  
「んーでも確かに、ここどいろざるざる起きる時間が後ろへずれてきてしまつているからなあ…」

…

【妃愛】  
「よし! 明日は久しぶりに、気合いを入れてお兄を起こさう!」

【妃愛】  
「明日は甘々の私ではなく、お兄の恋人にしても、もう以前のように、鬼の妃愛がお兄を起しますよ」

【妃愛】  
「いつまでも寝ていたら千尋の谷へ突きおとすよ」

【妃愛】  
「今週はお兄を厳しく起す週間だ！」

【妃愛】  
「あんまり朝の支度が遅れると、出かける前に玄関でいちゃいちゃする時間が減るからねー」

【妃愛】  
「明日からがんばろうね」

【妃愛】  
「立ちあがレツツ・ゴー！」

【妃愛】  
「あさー！ あさあさあさー！ あさあさおにー！  
あさおにー！」

【妃愛】  
「負けないでお兄！ 挫けないでお兄！ ーーー！ お兄のカッコいいところを私に見せてー！」

【妃愛】  
「枕に甘えではお先まつべらだー！ 一瞬で布団をふつとばせー！」

【妃愛】  
「『兄はお布団の中にあり！ 全軍突撃じやあああーー』」

【妃愛】  
「こっち向いてー！ 向かないでー！ でもやっぱりお兄の顔見たいから」こっち向いてー！」

【妃愛】  
「えくくお兄の顔ちゅき……おはよう」

【妃愛】 「「あんね、騒さずかきたかな」

【妃愛】 「でもさすがのお兄もこれで起きたよねー」

【妃愛】 「というわけでがんばって起きたお兄には、「いらっしゃい」とお出でにならなかったかな」

【妃愛】 「ん？」

【妃愛】 「お兄からも、お兄をがんばって起した私に」「

【妃愛】 「「せうびをくだちやい」

08お兄が風邪を引いてしまった日のひよこ

【妃愛】 「お兄」

【妃愛】 「様子を見に来たよ」

【妃愛】 「あ。」これ、お水いっぱい買つたので、枕元へ置いておぐね」

【妃愛】 「あと、りんご」磨るね。食べられるのなら食べてね」

【妃愛】 「どう? まだしんどう?」

【妃愛】 「うつるのなんて、お兄は心配しなくていいよ」

【妃愛】 「もちろん私自身の体調管理は気をつけるけど、昨日だつていっしょに」はん食べるし、病氣の家族を看病するのは当然の義務です」

【妃愛】 「まあ、お仕事休んじゃうと多くの人に迷惑をかけるので、お兄が心配で心配で仕方ない恋人の顔は覗かせないでおぐ」

【妃愛】 「なので、あくまで家族として、妹として、お兄の病氣が治るまでは、私にお世話をさせてね」

【妃愛】 「今日は妹モードなので、ちゅきちゅきたいのも我慢する」

【妃愛】 「もちろんおやぢやちゅうを求めたりもしません」

【妃愛】

「でもうん、昨日の夜は……久しぶりに一人で寝たので、ちょっと怖かった」

【妃愛】

「お兄がそばにいないだけで、あんなにベッドが広く感じるとは、自分でもびっくり」

【妃愛】

「すっかり弱虫になってしまったね」

【妃愛】  
「いずれはお仕事でお泊まりしたり、お兄だつて一人で旅行したいときがくるかもしないから、ひとりで寝るのにも心の準備をしておかないとね」

【妃愛】

「あ、でも、わざわざ別に寝ようとは思わないんで、風邪が治つたら、これからもいっしょに寝かせてください。えへへ」

【妃愛】

「手を握るくらいはいいかなあ

【妃愛】

「そのくらいは兄妹でもするよね

【妃愛】

「うして手を握つていれば、お兄が元気にならな

いかなあ……」

【妃愛】

「もしちゅうしたら治るとすれば、妹でしかなかつたこの私のはどうしてたかなあ

【妃愛】

「確実に治るっていう理由付けがあれば、妹であつても、お兄に初めてのキスしちゃつてたかな」

---

【妃愛】

「それをファーストキスに含めるかはわからないけどね」

【妃愛】

「でも、うん」

【妃愛】

「したら確実に意識はしちゃうよね」

【妃愛】

「なんて、お兄が病氣で苦しい思いをしているのに、ひとりで仮想の話に浸つてしまつて」「めんね」

【妃愛】

「こんなにしゃべりかけて辛くない？ 一人でいるより楽？ それならいいんだあ」

【妃愛】

「早くお兄が元気になるといいなあ……」

【妃愛】

「今日の夕」はんは何がいい？」

【妃愛】

「お兄が食べたいものを、身体がよくなるようを作つてあげるからね」

【妃愛】

「うどんがよければ卵を落として生姜をたっぷりおろして入れてあげる」

【妃愛】

「おかゆがよければ梅干しをのせてあげるから、しつかり身体を温めようね」

【妃愛】

「お兄がしてほしければ添い寝もするけど……うん、きっとお兄は私にうつしたくないと畳ついくれるよね」

---

【妃愛】 「風邪が治つたらいいっぱい甘えさせてね……」

【妃愛】 「あのね、お兄」

【妃愛】 「お兄には早く元気になつて欲しいし、お兄が風邪を引いて喜んだりする気持ちは全くないんだけど……」

【妃愛】 「子どもの頃、私たちが風邪を引いたときは、お父さんとお母さんが看病してくれたよね」

【妃愛】 「そのときは子どもで……」んな風にお兄のお世話はできなかつたけど

【妃愛】 「あのころは忙しくて……忙しいのを言い訳にして、お兄の様子を見に部屋へ行く」とすらしかかつたけど

【妃愛】 「私が風邪を引いたらお仕事に穴を開けてしまうからって、そんな理由で自分を正当化して、大切なものを疎かにしていたけど」

【妃愛】 「私が風邪を引いたとき、お兄は、私の部屋まで来て、おでこに手を当てる、そのあとで手を握ってくれたよね」

【妃愛】 「覚えてるんだ、あの日のこと」

【妃愛】

「大きくなつて、お兄はすっかり健康になつて、あまり風邪も引かなくなつて、風邪を引いたときでも今日みたいに寝込んだりすることはそうそくなかつたけど」

【妃愛】

「今日はこうして、お兄のそばで、お世話をしてもうげられるのが嬉しい」

【妃愛】

「お兄が心配だから、私は私にできる精一杯のことをするので、早く良くなつてね」

【妃愛】

「私は、最低の妹だなあ」

【妃愛】

「大切なお兄が病氣で苦しんでいるのに、嬉しいだなんて」

【妃愛】

「はあ、妹失格だあ」

【妃愛】

「ネットだと「小泉妃愛は兄想い」だなんて言われているけど、とんだ過大評価だよ」

【妃愛】

「メツキが剥がれてしまったね」

【妃愛】

「なので私は、やっぱり恋人としてお兄のお世話をするね」

【妃愛】

「恋にうつつを抜かして仕事に穴を空けたら声優失格ではあるけども」

【妃愛】

「妹として接している間に、これだけ密着してしまつたら、このあとで同程度の接触をして、それは妹だった私の責任かなあ」

【妃愛】

「なのでここからは、お兄の恋人として、より甲斐甲斐しくお世話をするね」

【妃愛】

「大好きな大好きな私のお兄」

【妃愛】

「身体が完全によくなつたら、いっぱいぎゅうして、いっぱいちゅうしてね」

【妃愛】

「えちちなことも、いっぱいしようね」

【妃愛】

「さて、それではタ『はんの支度をしてくるよ。りん』、『ぼれないように椅子へのせておくね。食べられたら食べてね』

【妃愛】

「あ、タ『はんができるまで少し眠る?』」

【妃愛】

「風邪を引いているときは寝るのが一番だからね」

【妃愛】

「うん、じゃあゆつくり……」

【妃愛】

「おやすみなさい」

## 09ある幸せな会話

【妃愛】 「おにい～」

「おにいー、おにい。今日はこのあとの予定がまるっと空いてしまっているので、夕方までまるとお兄に甘えてしまってもよいでしょうーか！」

【妃愛】 「えへへ、今日はね、実はね、お兄と話したいことあるう～」

【妃愛】 「お兄といつしょに見たいサイトがあつて……」れなんだけど」

【妃愛】 「あの、前には。お兄がその、私に素敵なドレスを着せてくれたので。そのあと、貰うとまだ言つてくれたので」

【妃愛】 「今まで田にしても視界から遠ざけていた、ブライダル情報サイトなどを昨日の夜のぞいてしまいました。てへへ」

【妃愛】 「あーうん、意識して避けてた部分はあつたねえ」

【妃愛】 「私には縁のないものと思つていたし、むしろこう……自分がそれを見守る場面ばかり想像してしまって、ちょっとぴり暗い気持ちになつたりもしたので」

【妃愛】 「自分で勝手に観て、ひとりで勝手に落ちこむつて、ちょっとぴり痛い子でしたけども、私」

【妃愛】

「でも今の私には、お兄という、生涯をともに過ごしてくれる大切な人がいるので!」

【妃愛】

「昨日の夜ね、ドキドキしながらサイトを覗いてしまったよ」

【妃愛】

「どんなものか想像もせずに、ページを開いてしまったわけだけど、まあその……素敵ですねえ」

【妃愛】

「なんかね、そんな未来を予想したこともなかったので、どハマリしてしまって」

【妃愛】

「もちろん想像の中の私の隣にいるのは、お兄以外のこと」と胸に刺さつてしまつて……なんかもうきゅんきゅんしてしまつて

【妃愛】

「もちろん想像の中の私の隣にいるのは、お兄以外に考えられないでの、お兄といっしょに見られたらなあ……って」

【妃愛】

「なのでお願いにきました」

【妃愛】

「今日の午後は、私とお話ししながら週」していくだ  
ちやい」

【妃愛】

「えへへ、ありがとーーー」

【妃愛】

「お兄ちゅきー、今日はじゅぱじ甘えるーーー」

【妃愛】 「あのねあのね、このサイトなのだけど、見て見て」

【妃愛】 「ほんとは本のほうが一人で見やすいかなって思ったんだけど、本屋さんで結婚情報誌を買うのは少し怖いからね」

【妃愛】 「お兄と二人きりで内緒の結婚式するんだあ」

【妃愛】 「あつほら見て！ まず私もう、「」からときめいてしまったのだけど！」

【妃愛】 「王道のクラシックなウェディング、カジュアルなリラックスウェディング、今だから「その和風ウエディング、どれもときめくうう！」

【妃愛】 「お兄がお兄が、こんなタキシードを着たときは、私ときめいて鼻と口から呼吸できなくなつて耳から呼吸してしまいそうなのだけども！」

【妃愛】 「えーっ、似合つよ絶対似合うー！」

【妃愛】 「お兄にタキシードは似合いますうー！」

【妃愛】 「和服もね、お兄に紋付袴もいいなつて思つたんだけどねー」

【妃愛】 「でもやつぱり、前にドレス着た姿をとても誉めてもらえたので、またお兄の前でドレス着たいー！」

【妃愛】 「白いタキシード着たお兄に手を引いてもううーー！」

【妃愛】 「えへへ、想像するだけで幸せだなあ……」「あーーん、ちょっと待って」

【妃愛】 「ちがくちがくで、お兄と楽しいお話しがしたかったですよ」

【妃愛】 「こんなしんみり泣いてる場合ではなくて、へへちょっと怖いなあ、私」

【妃愛】 「というかまだテーマの話しか、それも5分も話してないのにこれでは、先が思いやられるね」「でも本当に、想像するだけで幸せで……じんときてしまつた」

【妃愛】 「私、お兄の妹でよかつた……大好ち」

【妃愛】 「えへへ、先ほど甘えていいと許可をいただいたので」

【妃愛】 「今日はとても甘えたいの？」

【妃愛】 「あによ、お兄」

【妃愛】 「もっとくつつきたいので、そつちのソファーへ移動してもいいかなあ？」

【妃愛】 「うん、ありがとう……」「めんね資正、ちょっとぴりケージの中で大人しくしててね」

【妃愛】 「えへへ、お兄の肩借りるうー」

【妃愛】 「お兄の腕好き」

【妃愛】 「重くなつたら言つてね」

【妃愛】 「ね、ね、やつぱりチャペルでのウェディングっていいよねー」

【妃愛】 「私、結婚式の知識はぜんぜんなかったので、教会式つてこんなに素敵なんだあつて驚いたよ」

【妃愛】 「ステンドグラスに囲まれた式場の赤いバージンロードなんて、女の子の理想すぎて、見てるだけで照れてきちゃうね」

【妃愛】 「あつ海外の式場もあるんだあ」

【妃愛】 「わうすーい！ お兄、見て見て！ 海の見えるチャペルだつて！ バージンロードも青だあ。周り一面が海なんてのもいいねえ……」

【妃愛】 「わつ森の中のチャペルもある！ 木々に囲まれた小さな教会、憧れるうー」

【妃愛】 「ほえー！ 地上40階の天空のチャペルなんかも海外にはあるよー！」

【妃愛】

「そつか、海外の式場かあ……海外なら、こつそり結婚式挙げられたり……するのかな?」

【妃愛】

「家族旅行つてことにして、二人でこつそり誰にも見つからぬ教会で……」

【妃愛】

「お兄がいひつて言つてくれるなら、そんな未来を真剣に夢見ちやうなあ」

【妃愛】

「そのためにならいつぱい働くよ、いつぱい稼ぐ」「現地での手配や交渉も私たちだけでやらないといけないから外国語だつて勉強する」

【妃愛】

「地球の裏側なら南米かな? スペイン語かポルトガル語だね」

【妃愛】

「私はね、もう諦めてたから」

【妃愛】

「でもやつぱり心のどこかには憧れがあつて……その憧れがお兄となら叶えられそうで」

【妃愛】

「一度諦めてたものを手に入れるためのエネルギーギーつてすごいよ」

【妃愛】

「ただ欲しいだけのものを手に入れるときより、何倍ものエネルギーが出せる氣がする」

【妃愛】

「私、めっちゃがんばれる」

【妃愛】

「お兄と一人で結婚式するんだあ」

妃愛

「今までお兄を養つて二人で暮らすのを目標にお金貯めてきたけど、これからはもつと前向きに、お兄と気持ちを一つにして一生一人で暮らすのを目標にする」

【妃愛】  
一引退後の生きる目標ができた！  
がんばるよ、お兄！」

【妃愛】  
「だからお兄が私をお嫁さんにするためにがんばつ  
てくれるのも応援するうー」

【妃愛】

【妃愛】「これからもずっとそばにいさせてね」

【姫愛】一生お兄のお世話をさせてねえへへ」

【如愛】おは・お兄 カカクナ・テシモシマシタ

【妃愛】  
「……だと資正いるので……そによ、今日は私の部屋で」

【妃愛】  
「資正」めんね、ケージは開けるけど、散歩はある

1.....2時間待つてね「

【妃愛】  
「あ、そだ……私たちの秘密は誰にも話せないと  
思っていたけど、資正がいたね」

【妃愛】  
「いつか私とお兄の結婚式を祝福してね」

---

【妃愛】

「それじゃあお兄、今日も……今日もいっぱい愛してもら「うけど、明日も明後日も」の先も、健やかなるときも病めるときも」「

【妃愛】  
「この妹を愛していくだちやい」

「んっ」

【妃愛】

11甘えループ

**【妃愛】**

「んふふふ」

**【妃愛】**  
「お兄、お兄」

「んーん、 なんでもない」

**【妃愛】**  
「えへへ、 しゃーわせー」

12よちよちループ

【妃愛】

「よちよち」

【妃愛】

「よちち」

【妃愛】

「ん～よちよち」